

医療生活協同組合健文会

宇部協立病院

所在 〒755-0005 山口県宇部市五十目山町16-23

医療の安全性と平等性を地域で実践するために医療生協組合員と医療生協職員の手で創り上げた病院です。プライマリ・ケアを担う病院として、高度医療においては大学病院などの隣接病院と連携し、地域に求められている医療とは何かを意識しながら、安全・安心の医療と患者の人権を大切に医療、無差別平等の医療を推進していきます。

募集人数 **2名**

(令和9年度 採用予定人数)

病床数 **159床**

待遇

給与1年目: 400,000円/月

給与2年目: 450,000円/月



臨床研修病院

研修プログラムの特徴

宇部・小野田地域を中心に予防から診断・治療・リハビリ・介護までを実践しながら、医療制度をよくする運動にも取り組んでいます。プライマリ・ケアの習得に最も適した中規模病院で、地域医療を進めつつ、「生活している」患者さんを実感しながら、自らの将来の医師像を描いていける臨床研修を実施します。

研修スケジュール例

1 年 目	内 6カ月		救 3カ月	小 1カ月	産 1カ月	精 1カ月
	内…内科、救…救急部門、小…小児科、産…産婦人科、精…精神科					
2 年 目	外 1カ月	地 1カ月	必須診療科・選択科から希望に応じて選択可能 10カ月			

選択科目…総合診療科、麻酔科、整形外科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、保健・医療行政、内分泌内科、神経内科

関連病院等

- ・ 山口大学医学部附属病院
- ・ 宇部中央病院
- ・ 長門一ノ宮病院
- ・ 生協小野田診療所
- ・ 山口赤十字病院
- ・ 林道倫精神科神経科病院
- ・ 健和会大手町病院
- ・ 鳥取生協病院
- ・ 山口県庁
- ・ 下関医療センター
- ・ 美祢市立病院

主な勉強会

採血実習、抄読会、研修医カンファレンス、エコー研修、読影、全国並びに中国四国地域の他県研修医と一緒に研修・交流 など

プログラム
責任者

西村 洋一 医師



研修医

研修医2年目[山口大学出身]
古賀 登朗 医師

当院の自慢は？

救急から、リハビリテーション、在宅医療まで幅広い医療を展開しています。また、無料低額診療という経済的に困窮した患者さんの負担を軽減する制度に積極的に取り組んでいます。



研修内容のセールスポイントは？

受け入れられる研修医の数が少ない分、個々の先生とよく話し合いをしてオーダーメイドな研修ができます。他職種との垣根が低いので、チーム医療を実感しやすいと思います。



どんな指導を心掛けていますか？

支援と自主性のよいバランスを意識して、症例から一緒に学ぶ姿勢で指導していきたいと思っています。



医学生へのメッセージ

勉強、運動、趣味など外へ出て幅広く活動にチャレンジしてください。



研修先として選んだ理由

地域医療の最前線である在宅医療や、多職種が連携する地域ネットワークに強い関心がありました。研修医として将来の方向性を模索する中で、当院なら患者さんの生活背景まで踏み込んだ深い経験が積めると確信しました。入職前から「ここでどんな学びが得られるか」と、胸を高鳴らせていたのを覚えています。



この病院を選んでよかったこと

「無差別・平等」を掲げ、どんな背景の患者さんも決して見捨てない懐の深さに感銘を受けています。また、常に患者さんを第一に考え、診察後も「今の判断で良かったか」と真摯に振り返る先生方の姿勢に触れ、医師としての理想像を見つけられました。福利厚生面でも、医局秘書の皆さんの手厚い支えがあり心強いです。



研修で最も身についたこと

チーム医療の本質を学びました。薬局の皆さんの薬剤に対する徹底した責任感や、リハビリ、食事、退院調整を担うコメディカルの方々に、いつでも即座に相談できる環境があります。専門職同士がプライドと生真面目さを持って連携する中で、医師一人の視点ではなく、多角的に患者さんを支える視座が身につきました。



医学生へのメッセージ

当院は、技術の習得はもちろん「医師としてどう在るべきか」をじっくり考えられる場所です。熱意ある指導医と、職種の垣根を越えて助け合える仲間があなたを待っています。地域に根差し、一人ひとりの人生に寄り添う医療を志すなら、ここでの経験は一生の糧になります。ぜひ一度、当院の温かさを感じに来てください。

お問い合わせ先

担当部署：医局秘書課 | 担当者：林 | 電話：0836-33-6111
Eメール：hayashic399@gmail.com